




施策名	大 事 項	地球温暖化対策に対する取組み	交通政策部
	中 事 項	環境負荷の小さい交通体系の構築	
	小 事 項	公共交通機関の利用促進 [交通バリアフリー施策の推進]	
施策の概要	高齢者や障害者など、移動制約者からの社会参加要請の高まり等を背景に、ユニバーサルデザインの考え方を基に、いつでも、誰もが公共交通機関を安全、かつ円滑に利用できるよう、バリアフリー関連補助事業を活用し、バリアフリー施設等の整備を支援する。		
27年度の計画	<b>九州の施設の概要</b> 【バリアフリー化の目標値（平成32年度まで）】 <ul style="list-style-type: none"> <li>●旅客施設、鉄軌道車両、乗合バス、福祉タクシー、旅客船、航空機 <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅客施設（利用者数3,000人/日以上のもの）：原則100%</li> <li>・鉄軌道車両：約70%</li> <li>・ノンステップバス：約70%(対象から適用除外認定車両を除外)</li> <li>・リフト付きバス等：約25%(適用除外認定車両)</li> <li>・福祉タクシー：約28,000台（全国）</li> <li>・旅客船：約50%</li> <li>・航空機：約90%</li> </ul> </li> </ul>		
26年度の実績と評価	<b>九州の施設の概要</b> 駅のエレベーター・エスカレーターの設置、LRTの導入、ノンステップバスの導入、地方公共団体のバリアフリー基本構想の策定の支援等通じて、高齢者、障害者の移動利便性の更なる向上を図った。 ◇26年度末の設置状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>●鉄道駅：JR九州 エレベーター 122駅 ←113駅  エスカレーター 59駅  西 鉄 エレベーター 22駅 ←20駅  エスカレーター 17駅</li> </ul> ※ 福岡市営地下鉄、北九州モノレールは全駅設置済み <ul style="list-style-type: none"> <li>●旅客船ターミナル：多階ターミナル35施設のうち、エレベーターは30施設、エスカレーターは11施設（22基）に設置済み</li> <li>●福祉タクシー：1,320台 ※ 25年度末の導入台数</li> <li>●LRT：・鹿児島市営13編成 ・熊本市営7編成 ・長崎電気軌道 5編成</li> <li>●ノンステップバス：764台 ※ 25年度末の導入台数</li> <li>●旅客船：41隻 ※うち、25年度の就航隻数 4隻</li> </ul> ※鉄道・旅客船についてはデータ集計中 <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div>UDタクシー</div> <div>ノンステップバス</div> <div>バリアフリー化船</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>バリアフリー化については、多額の事業費を要する等、課題はあるものの、毎年、着実に向上している。</p>		